

2019年4月1日

トヨタ車体、2019年度入社式を実施

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、4月1日（月）午前10時30分からトヨタ車体 富士松体育館において、新入社員376人（事務職22人、技術職101人、技能職253人）の入社式を行いました。

入社式での社長あいさつ（要旨）は以下のとおりです。

【社長あいさつの要旨】

当社は1945年8月31日に、トヨタグループの車体メーカーとしては最も早く誕生した会社であり、その後多くの車体メーカーが誕生する中で、常に主導的な役割を担い、多様化する時代のニーズにこたえてきました。トラックから始まり、SUV、乗用車、商用車、ミニバン、そして特装・福祉車両と、時代に先駆けた製品を世に送り出してきました。今のトヨタ車体があるのは、これらの歴史の積み重ねによるものであり、まさに先人たちの努力の賜物です。

現在当社は、CVカンパニーの一翼を担うこととなり、また、トヨタ自動車から当社に「バン事業」も移管されました。これは、歴史的に見ても創業以来の大変革であり、担当するミニバン・商用車は、すべての責任を当社が担うこととなります。バンは当社の得意分野であり、これまで培ってきた技術はもちろんのこと、当社の強みである部署間のチームワークや現場重視の文化を存分に活かして、お客様に求められるクルマづくりを実現していきます。

自動車業界は、電動化や自動運転をはじめとする技術革新、異業種の参入など、厳しい競争の真ただ中にあり、まさに100年に一度の大変革期を迎えています。このかつてない環境変化をピンチではなくチャンスと捉え、当社やオールトヨタの未来のためにチャレンジし、CVカンパニーやバン事業を必ずや成功に導いていかなければなりません。

このような中、これから会社生活を送る上で大切にしたい三つのことをお伝えします。

1つ目は「自ら学ぶ」ということです。当社がCVカンパニーおよびバン事業を主体的に取り組み、やりきるためには、これまで私たちが経験したことがない、いわば、未知の領域まで踏み込んで、主体的に学んでいかなければなりません。みなさんも、自ら積極的に学び、想いをもって、エンジンを回せる人間になってほしいと思います。

2つ目は「夢を持ち、チャレンジすることを恐れない」ということです。当社の男子ハンドボール部は、日本リーグで、創部以来52年間に亘ってチャレンジし続けた結果、先月ついに初優勝を果たすことができました。失敗することもあるかもしれませんが、挑戦しなければ夢の実現はありません。みなさんも私たちと一緒に夢の実現に向けてチャレンジしていきましょう。

3つ目は「感謝と謙虚な気持ちを忘れない」ということです。みなさんは、ここに至るまでにはご家族や友人、学校の先生など数多くの人達に支えられてきたと思います。そのことについて、感謝と謙虚な気持ちを忘れないでほしいと思います。また、当社の歴史を築いてきた諸先輩や取引先のみなさま、当社製品を購入していただくお客さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、みなさんの力で今まで以上の強い絆をつくり上げてくれることを期待します。

当社にとってもみなさんにとっても、良い未来にしていくため、ともにチャレンジしていきましょう。

以上

世界のくらしに 笑顔届けたい

